

極東開発グループ 日本トレクス トレーラ生産用の新工場が完成 ～生産能力を大幅に強化～

極東開発工業株式会社（本社：大阪府中央区 社長：布原 達也）のグループ会社である日本トレクス株式会社（本社：愛知県豊川市 社長：高崎 文弘）が、本社工場内にて建設しておりましたトレーラ生産用の新工場棟が完成いたしましたことをご報告いたします。

今回新たに建設しました新工場は、トレーラの溶接と塗装を一貫ラインとしたほか、現行の生産工程における高所作業を低減することにより、フレキシブルな生産体系と安全な作業環境を実現しました。

また併せて、各工程において自動化による省力化・省人化を推進しており、ショットブラストや粉体塗装およびメインレール溶接などの重要工程をロボット化することでハイブリッドな生産現場を構築し、生産能力が現行比で約40%向上する見込みであることに加えて品質の安定化を図ります。

さらに、本社事業所で使用する電力の10～15%を賄うことを可能とした太陽光発電システム（750kw）の屋上への設置や、NAS 電池（ナトリウム・硫黄電池）蓄電システム（1,800kw）の設置により休日に太陽光を蓄電することで、再生可能エネルギーの活用を推進し、CO2 排出量についても年間約3.2t（見込み）削減するなど、環境にも配慮した工場となります。



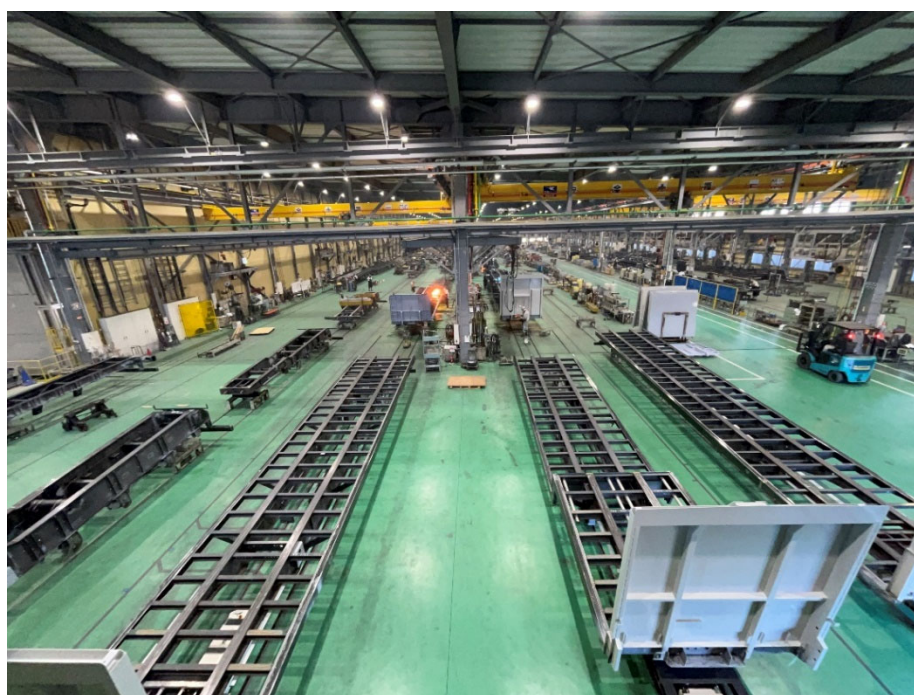
日本トレクス 本社 トレーラ生産工場(E工場)

これにより、大量輸送・効率化のニーズで需要が大幅に高まっているトレーラの生産体制を改善し、納期の短縮や製品品質の向上を図ります。

当社グループでは、今後とも特装車事業における生産体制の効率化及び能力の向上に向けた施策に注力してまいります。

【概要】

1. 名称 日本トレクス 本社 トレーラ生産工場 (E工場)
2. 所在地 愛知県豊川市伊奈町南山新田 350 番地
(日本トレクス本社工場内)
3. 投資額 約 53 億円 (建物・設備含む)
4. 目的 ①トレーラの組立溶接工程と塗装工程を一貫ラインとすることにより、作業効率化を図る。
②塗装工程におけるショットブラストや粉体塗装をロボット化することにより、省力化・省人化を推進する。
5. 建屋面積 12,148 m²
6. 生産能力 3,000 台/年 (当初計画)
7. ロボット台数
ショットブラスト : 12 台
粉体塗装 : 4 台
AGV : 5 台
メインレール自動溶接機 : 2 機



工場建屋内



ショットブラスト(ロボット)



太陽光パネル



NAS 電池蓄電システム

《新工場生産製品(一部)》



ウイングセミトレーラ



アオリ付セミトレーラ



平床セミトレーラ



コンテナセミトレーラ

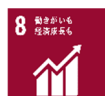


重機運搬用セミトレーラ

＜広報お問合せ先＞

極東開発工業株式会社 法務広報部
〒541-8519 大阪市中央区淡路町二丁目5番11号
電話 (06) 6205-7826 FAX (06) 6205-7830
ホームページアドレス <https://www.kyokuto.com/>

日本トレクス株式会社 経営企画部
〒441-0193 愛知県豊川市伊奈町南山新田350
電話 (0533) 78-2221 FAX (0533) 72-5185
ホームページアドレス <https://www.trex.co.jp/>



極東開発グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。